

紫日記

宮内庁書陵部藏本
中野幸一
津本信博 校合・解説

卷之二

上

昭和四十九年五月二十日
昭和四十九年五月二十五日
発印

行刷

紫 日 記

定価 八五〇円

編者 中野幸一
津本信博

東京都千代田区神田錦町三ノ十一
発行者 前田武

印刷者 森元亥三男

東京都千代田区神田錦町三ノ十一
発行所 会社名 武蔵野書院

電話 東京 03-48599(代)
振替口座 東京六七一四六番
郵便番号 101

モリモト印刷

二

けはひ入たつ一け
ひのたつ（群・傍
・彰・扶）

け色に一けしきにも
（群・傍・彰・扶
　一けはひに（切）
　をとなひ一音なん
（群・扶）

かくさせ給へる—か
くさせ給へり (群
・傍・彰・扶)

わすらるにも—わす
らる、も(切)一

わする、にも(彰
・扶)

のやし—あやしき

(群・傍・彰・扶)

いま、てー、いたた

(群・傍・彰・扶)

さふらは、—さふら
はし (群・傍・彰
・扶)

いひしろふー、いひし
らふ (群・扶)

うちおとろかしてー

うちおとろかし

(群・傍・彰・扶)

御すほうのー御すほ
う (群・傍・彰・扶)

われもどうちあけた
る—われもど、き
あけたる (彰)

しやうゑすかたにて
しやうゑすかたにて
まで（群・傍・彭
扶）

さしのそかせ給へる
一さしのそかせ給
へり（群・傍・彰）
扶（）

とくにうなづいて下さる
 おまへへりてはらひゆる
 つたのよこすかゆめうゆ
 ゆくはくよそくわくわく
 うあつてとくとくとく
 いきよせよせよせよせ
 うかくうかくうかくうか
 やくわくわくわくわく
 うかくうかくうかくうか
 うかくうかくうかくうか

との、うち殿三位の
 君一との、三位の
 (群)

蒙古文

心ちし侍しか——こ、
ちし侍る（彰）

あふきともも—あふ
 きとももの（群・傍）
 甘よ日の一廿日あま
 りの（群・傍・彰
 扶）
 上人ゆきゆきはるのキ花とてに
 のよきひひとむにれにれ
 ほりゆきゆきいわくうわきのひ

あふきともも—あふ
 きとももの（群・傍）
 甘よ日の一廿日あま
 りの（群・傍・彰
 扶）

扶（） 経房一種房（傍・彰・
そひ あらそひ（群・傍
扶） 経菜花二（傍書
一とねあら

そのころは——そのい
ろは（傍）

なまめかし—なよめ
かし（傍）

し給へる—し給つる
(群)

心ちなく一心なく

群・傍・彰・扶

おどろかす物かうて

一おどろかすもの
かとて(群・傍)

うちあかみたまへる

うちあかみ給つ

る(群・扶)

ひるやむく人とづらひがきゆくわ、
ひてアラシカミガタハシムのしらめ
トヨヘリテラシニトヨヒキシカ
シムレ人のよきよきよきよきよきよ
トヨヒキシのよきよきよきよきよきよ
セリキトモ

リツクナギアキアキアキアキアキアキ
トヨヒキシのよきよきよきよきよきよ
テアキシのよきよきよきよきよきよき

トモ

きのうりはくにうてゆきて
れぬふか代をやう年

兵部一兵衛(傍)

わかゆ一わくる(傍)

扶(扶)
そてふれてー袖ぬれ
て(群・傍・扶)

いつるほと／＼にー
いつるほと(彰)

たちさわきてーおほ
くさはきて(群・
扶)ー多きさはき
て(彰)

のこるなく一のこり
なく(傍)

いかにかけり給らん
一いかにかきり給
ふらん(傍・扶)
一いかこかき、給
ふらん(群・彰)